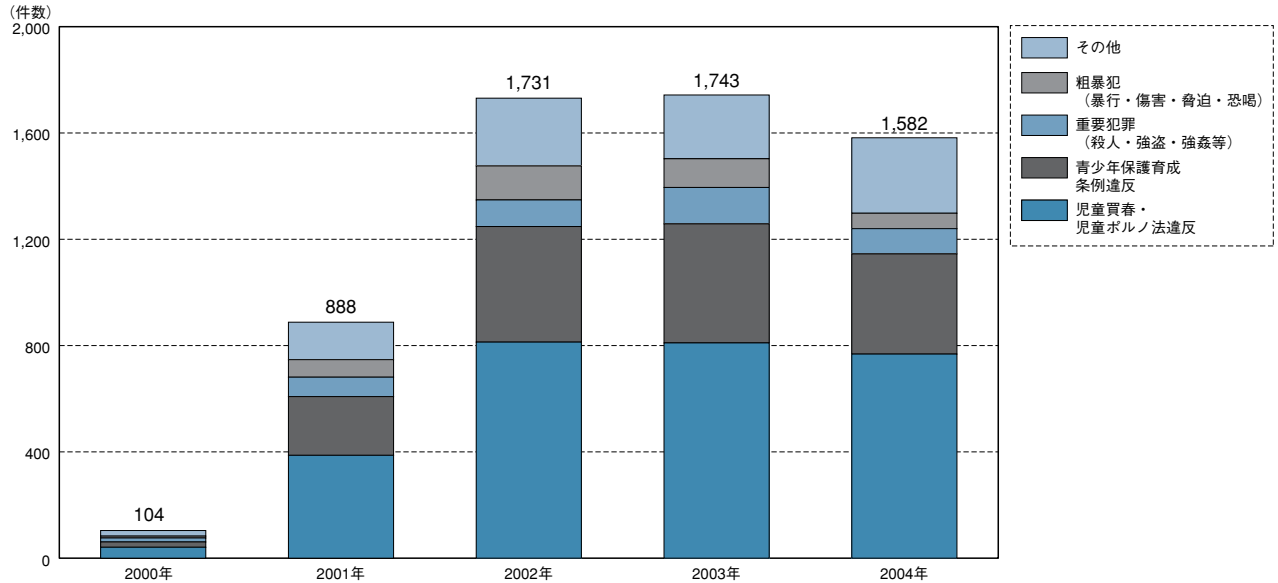


出会い系サイト

わずかに減少、しかし社会的弱者が被害を受ける構造は変わらず

資料6-3-8 出会い系サイト関連事件の検挙数の推移



各件数はほぼ横ばいだが(約160件減少)、それぞれがわずかに(9.2%)減少、一昨年から昨年にかけて増加していた重要犯罪や粗暴犯も、一昨年よりも減少している。ただし、被害者の84.2%が18歳未満の児童であり、社会的弱者が出会い系サイトによって被害を受けているという構造は何ら変わっていない。

出所 警察庁「平成16年中のいわゆる出会い系サイトに関係した事件の検挙状況について」2005年2月【1 出会い系サイトに関係した事件の検挙件数】

出会い系サイト規制法違反が急増、財産犯も増加

資料6-3-9 検挙された出会い系サイト関連事件の内訳

罪名	2001年	2002年	2003年	2004年
児童買春・児童ポルノ法違反	379	787	791	745
青少年保護育成条例違反	221	435	448	377
児童福祉法違反	16	117	82	87
重要犯罪 (殺人・強盗・強姦等)	73	100	137	95
粗暴犯 (暴行・傷害・脅迫・恐喝)	66	128	108	58
その他	125	138	158	197
計	888	1,731	1,743	1,582

出所 警察庁「平成16年中のいわゆる出会い系サイトに関係した事件の検挙状況について」2005年2月【出会い系サイトに関係した事件の検挙状況等 (1 検挙件数の年別推移)】

重要犯罪や粗暴犯が減少している中、出会い系サイト規制法違反だけが圧倒的に増加している。同法は2004年9月から施行されたため、単純な比較はできないが、同法の実効性を感じ取ることができる。他の犯罪では、詐欺・窃盗という財産犯の増加が目立ち、出会い系サイトの犯罪への使われ方が変わってきたことがうかがえる。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp